記者発表（展示説明）のお知らせ

令和4年3月 23 日

各報道機関　様

京都府立丹後郷土資料館

企画展「海上禅叢－天橋山智恩寺の名宝から－」の記者発表（展示説明）を下記のとおり行いますので、お知らせします。

なお、当日御都合のつかない場合は、後日でも説明させていただきますので、事前に御連絡願います。

記

日　　時 ： 令和4年4月 16 日（土） 午前 11 時から
場　　所 ： 府立丹後郷土資料館

企画展　海上禅叢－天橋山智恩寺の名宝から－（別添開催要項）

1 会　期／令和4年4月 16 日（土） ～ 6月 12 日（日）
2 会　場／ふるさとミュージアム丹後（京都府立丹後郷土資料館）
　　宮津市字国分小字天王山 611-1
3 開館時間／午前 9 時～午後 4 時 30 分
4 休館日／毎週月曜日
5 関連事業
（1）文化財講座　「丹後・天橋立文化の精華
　　－智恩寺文化財総合調査の成果から－」
　　日時：4月 30 日（土） 13 時 30 分から
　　会場：当館第一研修室
　　講師：石川　登志雄　氏（京都産業大学教授）
　　定員：30 名（当日先着順に整理券を発行）
（2）文化財講座　「仏像の中をのぞいてみよう！」
　　日時：5月 28 日（土） 13 時 30 分から
　　会場：当館第一研修室
　　講師：桑原　正明　氏（京都府教育庁文化財保護課）
　　定員：30 名（当日先着順に整理券を発行）
（3）ぶらり丹後　「智恩寺と文殊地区」
　　日時:5月 14 日（土） 13 時 30 分から
　　集合：智恩寺駐車場
　　案内：当館資料課　稲穂　将士
　　定員：30 名

展示担当	資料課　稲穂　将士
電話	（0772）27-0230

令和４年度　京都府立丹後郷土資料館春季企画展　開催要項

１　名　　称　　企画展『海上禅叢―天橋山智恩寺の名宝から―』

２　会　　期　　令和４年４月 16 日（土）～６月 12 日（日）
　　開館日数 50 日間（会期 58 日のうち）　休館日　毎週月曜日

３　開館時間　　午前９時～午後４時 30 分

４　会　　場　　京都府立丹後郷土資料館（京都府宮津市字国分小字天王山６１１－１）

５　主　　催　　京都府立丹後郷土資料館

６　開催趣旨

　智恩寺は延喜年間（901～923）の創建と伝えられ、天橋立の切れ目（切戸）に所在する寺院です。天橋立にちなんで天橋山と号し、文殊菩薩像を本尊にする文殊信仰の霊場で、三門には「海上禅叢」という扁額が掲げられています。これは同寺に伝わる文明 18 年(1468)の「九世戸智恩寺幹縁疏并序」（府指定文化財）から引用されたもので、海上に聳え立つ禅寺を意味し、智恩寺の姿を象徴する言葉となっています。

　智恩寺には多くの文化財が残され近年その調査が完了しました。当寺の文化財の中には、金鼓や釈迦三尊像など朝鮮半島や中国から招来された品々が含まれ、日本海を通じた交流の様子がわかります。また、多宝塔の本尊・大日如来坐像内の銘文や細川忠興・幽斎らの書状などから室町時代から戦国時代にかけて政治権力と関わっていたことが知られています。本展では、これら智恩寺所蔵の文化財を一堂に集め、智恩寺の歴史について紹介します。

７　主な展示品一覧（予定）◎重要文化財　○府指定文化財　□市町村指定文化財

　◎金鼓　○「萬福寺」扁額　○絹本著色 釈迦三尊像　○絹本著色 地蔵菩薩像
　○九世戸縁起　○大日如来坐像　□智恩寺奉納絵馬　細川忠興・幽斎連署書状
　細川忠興禁制　絹本著色阿弥陀三尊来迎図（伝恵心僧都筆）　天橋立図屏風

８　関連事業

○文化財講座

　４月 30 日（土）　午後 1 時 30 分から
　　「丹後・天橋立文化の精華―智恩寺文化財総合調査の成果から―」
　　講師　石川　登志雄　氏（京都産業大学教授）

５月 28 日（土）　午後 1 時 30 分から
「仏像の中をのぞいてみよう！」
講師　桑原　正明　氏（京都府文化財保護課）

〇ぶらり丹後
５月 14 日（土）　午後 1 時 30 分から　集合：智恩寺駐車場
「智恩寺と文殊地区」
案内　稲穂　将士（当館資料課）

９　協力機関（予定・敬称略・順不同）
智恩寺、宮津市教育委員会、株式会社修美

10　入館料
一般 200 円　小中学生 50 円　　団体割引（20 名以上）　一般 150 円、小中学生 40 円
但し、次の方々は無料
・満 65 歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者の方、小中学校等の学校教育活動の場合。
・府内にお住まいの方で、「きょうと子育て応援パスポート」を提示した小学生のお子さんを同伴された親または祖父母の方 1 名分の観覧料は無料。

11　その他
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によって、中止・変更・人数制限等を行うことがあります。

令和４年度春季企画展

海上禅叢

かい じょう ぜん そう

―天橋山智恩寺の名宝から―

4/16（土）～6/12（日）

■休館日：毎週月曜日

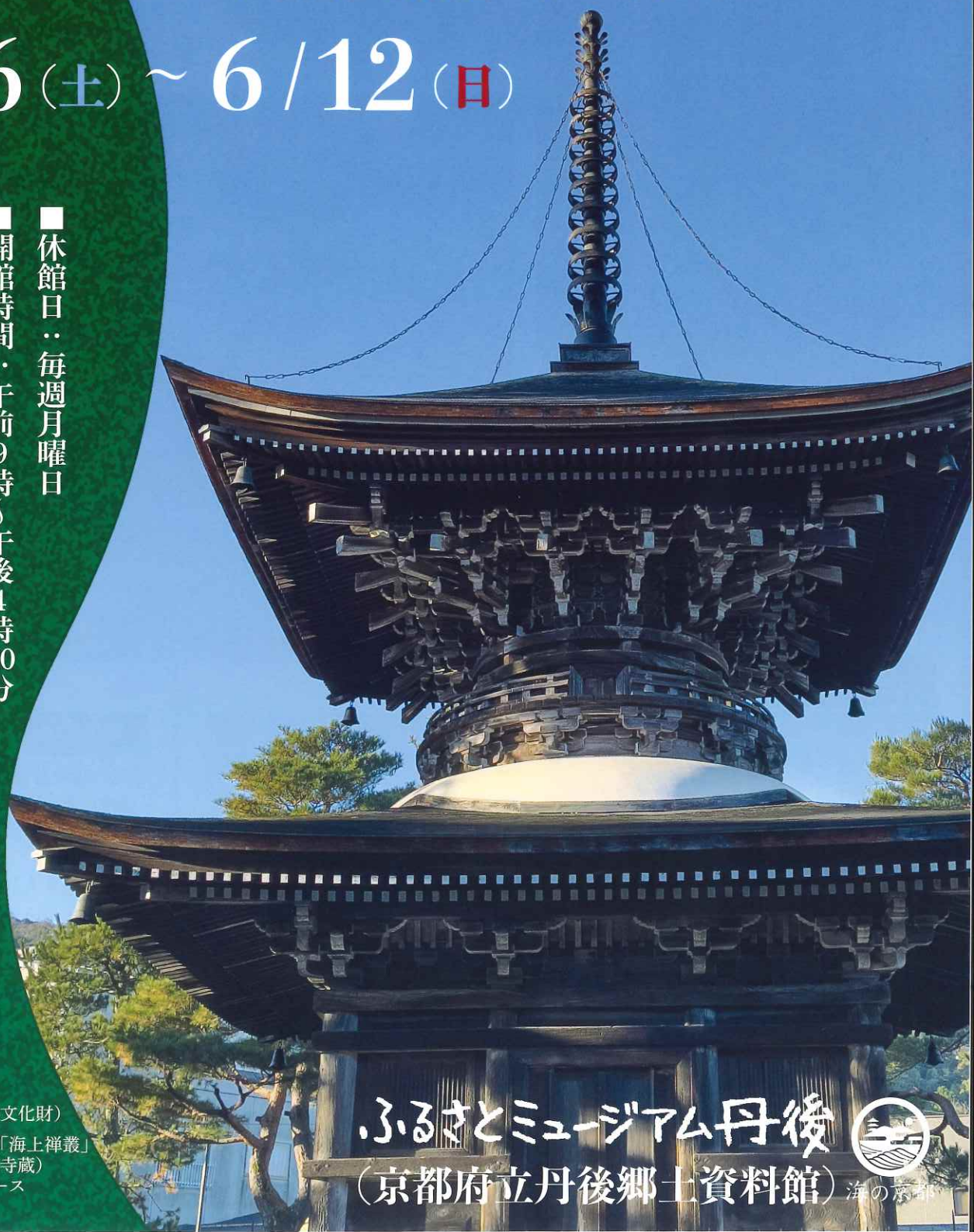
■開館時間：午前９時～午後４時30分

■入館料：大人２００円、小人５０円（団体割引あり）

＊６５歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料

＊「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

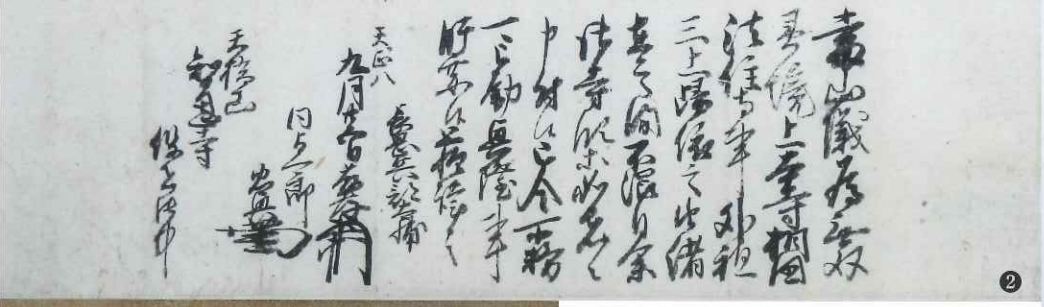
※新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施しますが、感染状況により事業が中止または内容変更となる場合がございます。ご来館の前に当館ホームページもしくはお電話等でご確認ください。



写真：智恩寺多宝塔
（室町時代・重要文化財）

題字：園基香筆　扁額「海上禅叢」
（江戸時代・智恩寺蔵）
文字部分をトレース

ふるさとミュージアム丹後
（京都府立丹後郷土資料館）



❶大日如来坐像（府指定文化財）　❷細川藤孝・忠興連署書状
❸金鼓（国指定重要文化財）
❹絹本著色釈迦三尊像（京都府指定文化財）

※文化財保護のため会期中に一部展示替があります。
詳しくは丹後郷土資料館ホームページをご確認ください。

令和４年度春季企画展

海上禅叢（かいじょうぜんそう）

―天橋山智恩寺の名宝から―

智恩寺は天橋立の切れ目（切戸）に所在する臨済宗妙心寺派の寺院です。天橋立にちなんで天橋山と号し、文殊菩薩像を本尊にする文殊信仰の霊場で、三門には「海上禅叢」という扁額が掲げられています。これは同寺に伝わる文明 18 年（1468）の「九世戸智恩寺幹縁疏并序」から引用されたもので、海上に聳え立つ禅寺を意味し、智恩寺の姿を象徴する言葉となっています。

智恩寺には多くの文化財が残され近年その調査が完了しました。当寺の文化財の中には、朝鮮半島や中国から招来された品々が含まれ、日本海を通じた交流の様子がわかります。また、多宝塔の本尊・大日如来坐像内の銘文や細川忠興・幽斎らの書状などから室町時代から戦国時代にかけて政治権力と関わっていたことが知られています。本展では、これら智恩寺所蔵の文化財を一堂に集めて、智恩寺の歴史について紹介します。

関連イベント

文化財講座

会場：当館第１研修室
※各回定員 30 名　※当日午前 11 時 30 分から先着順に整理券を配布

4 月 30 日（土）　13：30～　「丹後・天橋立文化の精華
―智恩寺文化財総合調査の成果から―」
講師：石川　登志雄氏（京都産業大学教授）

5 月 28 日（土）　13：30～　「仏像の中をのぞいてみよう！」
講師：桑原　正明氏（京都府教育庁指導部文化財保護課）

ぶらり丹後

集合：智恩寺駐車場（京都府宮津市文珠 466）

5 月 14 日（土）　13：30～　「智恩寺と文殊地区」
案内：稲穂　将士（当館資料課）

アクセス

京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または
「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き
「丹後郷土資料館」下車または「国分」
下車徒歩５分
「与謝天橋立ＩＣ」から車で 10 分

ふるさとミュージアム丹後
（京都府立丹後郷土資料館）
〒629-2234　京都府宮津市字国分小字天王山 611-1
TEL　0772-27-0230　　FAX　0772-27-0020
H P　http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/

最新情報はこちら！

HP　Instagram　Twitter